

新型コロナウイルス感染症の状況も落ち着き、夏休み子どもフェスティバルとして予定した事業のほとんどを実施することができ、子どもたちの嬉しそうな顔や楽しそうな顔で溢れました！いくつかの事業をピックアップして事業の様子をご紹介します。



フィンスイミング教室 (8月16日)

町観光大使でフリーダイバーの岡本美鈴さんらの協力を得て、初めて開催しました。

子どもたちは通常よりも速く水中を動くことができることに大喜び！大人が両脚を広げてつくった水中トンネルを上手に通り返る様子は、まるで人魚のようでした。



夜のプランクトン観察会 (8月21日)

夜の海でお家の方と協力してプランクトンを採集し、顕微鏡でプランクトンを観察しました。

顕微鏡越しに見える様々な形のプランクトンの正体や生態について、講師を務めたNPO法人ディスカバーブルーの皆様にも積極的に質問を投げかけていました。



おもしろ体験隊「カヌー体験」 (8月23日)

清川村を訪問し、宮ヶ瀬湖でカヌー体験をさせていただきました。最初は上手に漕ぐことができず、その場を回転してしまう子どもたちもいましたが、徐々に慣れてくると随行した職員よりも速くまっすぐに漕げるようになりました。



この他にも親子工作教室、ラジオ工作教室、ちびっ子芸術祭2023、一日図書館員といった事業を開催しました。どの事業も子どもたちの嬉しそうな顔、楽しそうな顔が多く見られました。

こうした事業を展開できたのも地域の皆様のご協力があってこそと考えています。この場をお借りして深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

今後も子どもたちの健全育成に皆様のお力を貸していただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

教育委員会一同

今月の表紙



9月19日、まなづる小学校(4・5年生)および真鶴中学校において、福祉学習として「車椅子バスケットボール体験講座」を実施しました。

講師には、相模原市のけやき体育館を拠点として活動されている車椅子バスケットボールチーム「SAGAMI FORCE」の熊谷 昌飛さんをお招きしました。座学の後には実際に車椅子に乗って、ミニゲームを楽しみました！